

MRJ見学会

IEEE 名古屋支部 LMAGは、IEEE 名古屋支部 と共に、MRJミュージアム見学会を次のように開催しました。

(1)訪問先：MRJミュージアム

愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1（あいち航空ミュージアム内）

(2)日時：2018年3月30日(金) 13:30-17:00

これは同LMAGが2017年10月7日に設立されて以来、第1回のイベントになります。

参加者は14人で、13:30に県営名古屋空港のフジ ドリーム 航空（FDA)の到着ロビーに集まりました。この空港は前の小牧空港で、主な航空会社はFDAだそうです。LMAG間友好のため、LMAG東京、関西にもご出席をお願いしましたところ、LMAG東京からは、ViceChair・高野先生、LMAG関西からは、ViceChair・小林先生のご出席を賜りました。

LMAG名古屋の市川Vice Chairが先導して、ミュージアムまで5分程度歩きました。そのロビーで開会式と稲垣LMAG Chairの挨拶がありました。次いで三菱航空機（株）の会議室に移り、会社概要と三菱地域ジェット（MRJ）の開発現状が、岸副社長と梶谷部長から説明されました。

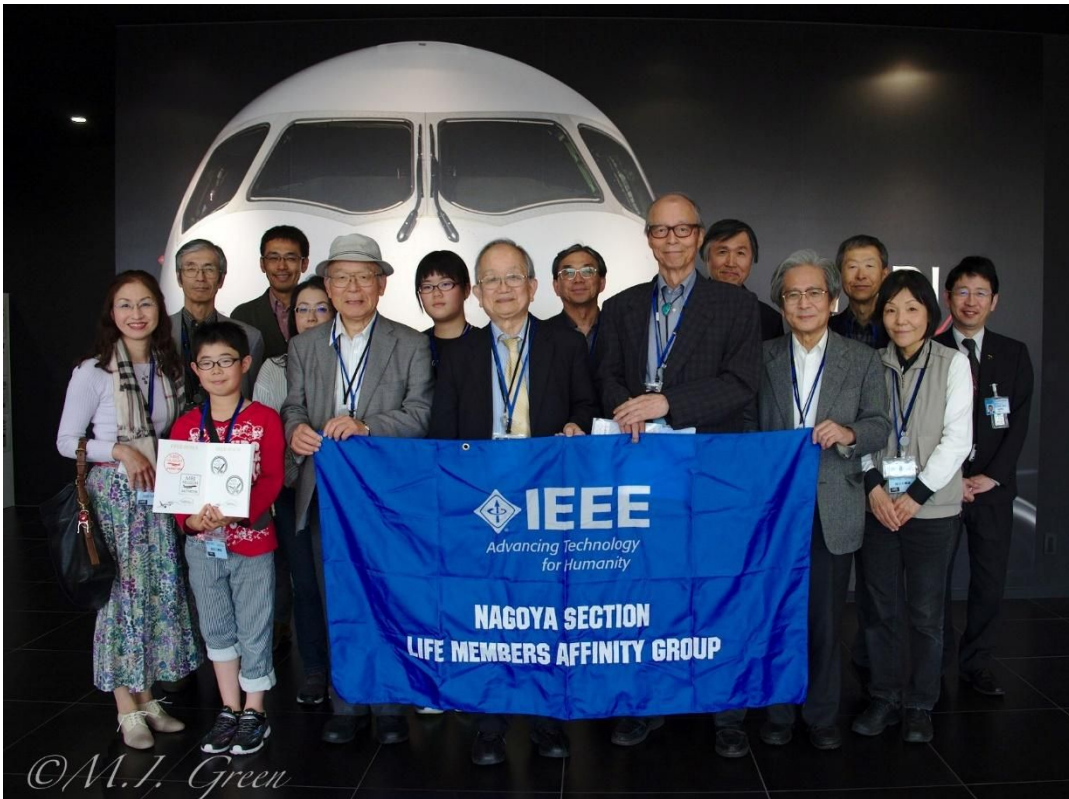
ミュージアムの中に入ると説明員が、MRJの構成や、技術、製作法などを、展示品やVR装置を使って分かりやすく説明してくれました。次に実際の製造工場を、見て回りました。最終組立工場内は、胴体や翼を結合する「構造ライン」と、全体の艀装（ぎそう）や機能試験を行う「艀装（ぎそう）ライン」から成り、構造ラインで完成した機体は一度工場の外に出て、艀装ラインに入ります。各ライン6機ずつ、計12機分の作業が同時に進められるだけの、広さと設備を有します。まさに製造途中の機体を見るのは、圧巻でした。子供の参加者も、楽しんでいました。

興奮冷めやらぬまま前の会議室に戻り、現状について梶谷部長の講演の後、質疑応答となりました。参加者はMRJのファンとして、厳しくも暖かい質問を多数出していました。現在の引き合い機数や引き渡し時期、値段の決め方、等多岐にわたりました。

最後に担当者に礼を言った後、ロビーで記念写真を撮りましたが、17:30になっていました。道路が混んでいたせいもあり、名古屋駅には19:00近くに着きました。その後、IEEE名古屋支部長石橋先生にもご参加いただき、懇親会を開催いたしました。

末筆になりますが、三菱航空機（株）にはたいへん丁寧なご説明を長時間にわたり行っていただき、またミュージアム入場に関してもご高配をいただきました。感謝の気持ちを込めましてLMAG名古屋から、添付のような感謝状（楯）を贈呈いたしました。

（記載：LMAG東京 高野、LMAG名古屋 水野）



MRJ見学会の参加者 ミュージアム入り口で見学者一行（旗を持つ左から2人目が稲垣Chair、右端は三菱航空機榎谷業務部長）



MRJ開発状況に関する講演(講師:三菱航空機榎谷業務部長)



LMAG名古屋からの感謝状の楯